

すこやか

第35号

2010/1/15

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

はじめまして



はじめまして、昨年の7月に整形外科主任部長として着任致しました中井 毅（なかいつよし）と申します。昨年はインフルエンザ、デフレ宣言など様々な問題を抱えた年でしたが、赴任してはや半年が過ぎ新しい年を迎えることができました。遅ればせながら自己紹介をさせていただきます。

私は昭和63年に信州大学を卒業し、大阪大学整形外科に入局致しました。その後は関連病院で勤務し、前任の病院では股関節と膝関節の人工関節置換術の手術ばかりを行っておりました。市立伊丹病院の部長を拝命するにあたり専門領域のみを治療していた私が、伊丹市民の皆さまへ整形外科の医療をどのように提供すれば良いのか考えました。まず、伊丹市民の皆さまへ救急医療を十分に提供すること、骨折、脱臼、腱断裂などの外傷は積極的に受け入れて早期に手術加療を行うこと。開業医の先生からご紹介して頂いた際にはMRI、CT、DXA、シンチグラムなどの精査を早急に行い、確定診断や治療方法を決定すること。その上で、専門分野では阪神間に市立伊丹病院ありと認められるように努力することが私の使命であると思い至りました。人工関節については患者さまの体の負担が少ない手術を心がけております。小侵襲用に器具を改良し小さい切開でも正確に人工関節を設置できるようにしております。膝関節については傷んでいる関節を全部置換する方法と一部のみを置換する方法を取り入れています。また、股関節では仰臥位（仰向けのこと）で手術を行い後方の筋肉と関節包を温存することにより股関節を深く曲げることが可能となる、日本の生活様式に適した術式を採用しております。

最後になりましたが、地域の診療所や病院の先生方と密接に連携をとり、安全で質の高い医療を市民の皆さまに提供したいと考えています。そのために皆様にはぜひかかりつけの先生をつくって頂き、普段はかかりつけ医の診察を受けて頂き必要時には紹介状を持参して頂いて当科で診察させて頂きたいと考えております。市立伊丹病院の整形外科一同、より良い医療を提供するよう努力する所存です。皆さまからお力添えして頂けますようお願い申し上げます。

整形外科主任部長 中井 毅

・「第1回 がん市民講座」を開催しました!・

より多くの市民にがんに関する情報を提供し、ともに学ぶことを目的として平成21年6月21日に第1回市民公開講座「みんなで学ぼう、がん診療!!」を開催しました。病院広報誌で情報提供の機会をいただきましたので市民講座の要旨をご紹介します。



(会場風景)

当日は伊丹市立産業・情報センターに100名の市民が集まり、伊丹市医師会の原会長より開会の辞を頂戴し、その後約2時間にわたり5つのテーマで講演が行われました。

「大腸がん」は私が担当し、早期発見の重要性と便潜血の有有用性についてお話をさせていただきました。また、術前検査におけるCT検査の有有用性と実際の腹腔鏡下大腸切除術をビデオで供覧させていただきました。

「肺がん」は呼吸器内科の細井医長が担当し、たばこが肺ガンの一番の危険因子であること、また肺がんは治りにくく、緩和医療も重要であることも強調されました。

「乳がん」は外科の馬場部長が担当し、触診やマンモグラフィーによる早期発見の重要性とマンモトーム等の最新検査や乳房温存手術が紹介されました。

「胃がん」は平塚病院長が担当し、胃カメラ等による早期発見の重要性と地域病診連携と最新のがん治療として胃癌のセンチネルリンパ節を利用した低侵襲手術が紹介されました。また、多発性の肝転移症例で抗がん剤等が著効し、10年以上元気に過ごされている患者さまが紹介されました。

がん相談支援室の矢野看護師長(がん化学療法認定看護師)からは、市立伊丹病院の「チーム医療の現状」をビデオも交えて紹介されました。

講演終了後、88名の方よりアンケート回答をいただき、今回の市民講座はわかりやすく、今後もこのような講座を継続してほしいという意見を多数いただきました。他のがん腫や、がんの治療法やがんになってからの生活を聞きたい等の意見もいただきました。アンケート結果を参考に次回は、がん治療の実際や生活指導をテーマにした市民講座を計画中です。市民のみなさまには、地域医療発展のため今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。



(講演風景)



(参加者との対談)



(市立伊丹病院スタッフ一同)

外科部長
兼 外来化学療法室部長
兼 がん相談支援室部長
木村 文彦



美味しく食べて健康からだ作り シリーズNo.2

今回は冬の寒さから体を守り冷え症改善・風邪予防をする為に旬の食材を使った料理「冬野菜と鶏肉のピリ辛煮」を紹介します。皆さん一緒に、美味しく食べて健康からだ作りしませんか。

食材豆知識

かぶ

デンプン分解酵素のアミラーゼが含まれており、食べすぎで疲れた胃の働きを助けてくれます。また漢方では、胃腸を温め、冷えが原因の腹痛を和らげるとされています。

ブロッコリー

ビタミンCをたっぷり含んでいます。ビタミンCはウイルスに対する抵抗を高めるため風邪予防に欠かせない栄養素です。夏野菜と思われる方が多いのですが、立派な冬野菜なのです。茎や葉の部分にも栄養がたくさん含まれていますから、捨てないでしっかり食べてください。

れんこん

ビタミンCや食物繊維が多く動脈硬化の予防・整腸・便秘予防にも効果があります。また、れんこんを切ると粘りの成分が出ますが、これはムチンによるもので粘膜を潤し損傷を保護する働きがあります。がん・高血圧の予防、美肌効果などたくさんの効果・効用のある食材です。

「冬野菜と鶏肉のピリ辛煮」



材料（2人前）

鶏もも肉	180g
かぶ	100g
れんこん	50g
ブロッコリー	80g
しょうが	少々
赤唐辛子	少々
炒めサラダ油	少々
だし汁	3カップ

調味料

砂糖	大さじ1
しょうゆ	大さじ2
みりん	大さじ2
酒	大さじ2

1人前 311kcal 塩分2.7g

作り方

- ① 鶏肉は一口大に切る。かぶ・れんこんは、皮をむき串切りにし、れんこんは、下茹でし、ブロッコリーは、一口大に切り茎も使用します。
- ② 鍋にサラダ油・しょうが・赤唐辛子を軽く炒め鶏肉を入れ、肉の色が変わったられんこん・かぶを入れさらに炒める。
- ③ だし汁を加えて、煮立ったらアクを取りながら約15分ほど煮る。
- ④ ③に調味料とブロッコリーを加え、蓋をして汁気がなくなるまで煮る。



①



②



③



④

調理ポイント

フライパンに油を入れしょうが・唐辛子を入れて少し炒めることで香りと風味を引き出します。かぶは大根と違いきめが細かく煮崩れしやすいので、煮物にする時は、皮を剥いてそのまま下茹でせずに調理します。ブロッコリーもかぶと同じで、煮込み過ぎると形がくずれるので、必ず最後に入れてください。だし汁を加えて煮立ってからは、鍋を振るようにして全体に味を付けてください。汁気が無くなるまで繰り返してください。

体の中から温めて冷え性改善・風邪予防！！皆さんチャレンジしてみてくださいね！

栄養管理担当 専門調理師 柴田 真由美

～ 無料クーポン券で受ける女性特有のがん検診 ～

国の「女性特有のがん検診推進事業」を受け、伊丹市でも女性特有のがん（子宮がん・乳がん）対策として、昨年10月に対象者へ無料クーポン券が送付されました。当院は子宮がん検診・乳がん検診ともに無料クーポン券取扱い医療機関になっています。

この無料クーポン券での検診は平成22年3月31日までになっていますので、対象者の方でこれから受診予定の方は、お早めに当院で検診をお受けください。

【子宮がん検診】平日の午前8時30分から午前11時までに初診受付でお申込みください。

【乳がん検診】乳がん検診は完全予約制です。平日の午後12時から午後4時まで、初診受付で予約受付をしています。（電話予約777-3773内線3994）

①マンモグラフィ検診：毎週土曜日の午前9時から午後4時に実施（女性技師が担当します）

②視触診及び結果説明：毎週水曜日の午前9時～午後12時

①を受診後、②の順に受けていただきます。

女性特有のがん検診検査当日には、クーポン券・保険証・女性のためのがん検診手帳（お持ちの方）・診察券（お持ちの方）をご用意ください。

～ 「かかりつけ医」からの紹介状をお持ちください ～

はじめて病院にかかれる時は、かかりつけ医からの紹介状をご持参ください。紹介状があればかかりつけ医での検査結果や診療内容を参考にできることから、病院での検査や治療が効率よく受けられます。紹介状がない場合は検査の重複や、そのために通院期間が延びることも考えられるうえ、当院では診察料とは別に初診時に保険外併用療養費として1,050円をご請求させていただいております。当院は現在、地域医療を守るため、地域の診療所と連携を図る「病診連携」に積極的に取り組んでいます。

～ 人間ドックで胃カメラの選択が可能になりました ～

当院人間ドックの胃の検査では胃透視（バリウム検査）のみを採用していましたが、平成21年4月から胃透視にかえて胃カメラ（内視鏡検査）の選択が可能となりました。胃カメラを希望される場合は人間ドック申込時に胃カメラの予約が必要となります。

人間ドックの助成制度についてはご加入の健康保険にご確認ください。

お申込み・問い合わせは 1階人間ドック棟 人間ドック受付まで 電話777-3773

（内線 2583）

☆ 医師の人事異動がありました。

採 用		退 職	
（22年1月1日）		（21年12月31日）	
外 科 部 長	田 中 伸 生	外 科 医 長	秋 山 洋 介
眼 科 医 長	川 口 清 富	眼 科 医 長	辻 川 薫
整 形 外 科 副 医 長	玉 城 雅 史	整 形 外 科 医 長	山 本 栄
産 婦 人 科 専 攻 医	原 田 裕 子	循 環 器 内 科 専 攻 医	福 田 修 久

～ 保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。～